

# 平成 26 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

## 議 事 録

開催日時：平成 26 年 5 月 16 日(金)

午後 2 時から午後 4 時 00 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

### ●出席者

・委員：17名

(欠席者3名 梅沢委員、吉村委員、河原委員)

・事務局：5名 河原総務理事、杉本まちづくり課長、林課長補佐、  
佐々木主査、藤野主事

### ●説明事項

越前町地域公共交通会議の役割について

事務局	事務局より説明
-----	---------

### ●議事概要

(1) 会長および副会長の選任について

事務局	要綱によりますと委員の互選により選出するとなっておりますが、いかがいたしましょうか。
西野委員	本会議の趣旨を考えますと、本会議が住民や事業者の意見を吸い上げて、地域の実情に即した輸送サービスの提供について協議すること、また、国、県との折衝をしなければならないこと、それに予算措置も伴うことですから越前町を代表している内藤町長になっていただければ良いのではないかと提案させていただきます。
事務局	西野委員より意見がございましたがいかがでしょうか。
	異議なしの声
事務局	異議なしの声がございましたので、ご承認いただける場合は拍手でお願いします。拍手全員でございますので会長は内藤町長に決定しました。次に副会長の選任について協議させていただきます。要綱によりますと副会長の選任は、会長が委員の中から指名するとなっております。
内藤会長	副会長は浅沼委員にお願いします。

事務局	副会長は浅沼委員に決定いたしました。 慣例によりまして、議長は副会長の浅沼委員にお願いいたします。 公務のため会長退席。
-----	--

(2) コミュニティバス停留所の新設について (報告)

事務局	事務局より説明
-----	---------

(3) 平成25年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	9ページのほやほや号3路線の乗車人数は分かりますか。
事務局	ほやほや号西田中(天王～プラント3)で平成24年度の運行回数が1,222回、乗車人数が1,824人、平成25年度が1,503回、2,509人、ほやほや号織田(織田～プラント3)で平成24年度が1,658回、2,509人、平成25年度が1,840回、2,881人、ほやほや号茱崎(水仙ランド～若杉)で平成24年度が2,104回、3,469人、平成25年度が3,487回、5,601人となっています。
浅沼副会長	ほやほや号の利用者数は増えているのか。
事務局	増えています。
浅沼副会長	10ページの丹生高校の通学定期券補助が減額となっている要因は。
事務局	織田、宮崎地区の生徒が丹生高校へ通学する手段としては自転車を利用する場合があります。また、最近は親が学校へ送っていくことも見受けられ、全体的に定期券を購入するケースが減っていると考えられます。
矢部委員	通学定期券の補助購入H25の地区別の内訳を教えてください。
事務局	手元に資料がございませんので、確認して報告させていただきます。
遠矢委員	今年の4月から孫が福井市内の学校へ通っている。現在の西田中から福井への路線バス直通便の到着時刻だと学校の始業時間に間に合わないの、神明駅まで自転車で行き電車に乗って福井方面へ通っている。始業時間に間に合う時刻での西田中から福井市への路線バス直通便をなんとかしてもらえないか。本来ならばバス事業者へ言うべきだと内容だとは思いますが。
事務局	事務局の分かる範囲で説明させていただきます。十数年前、かれい崎から上戸を通り西田中、鯖江を通して福井方面へ向かう福浦線があり、一旦廃止されましたが現在は地元等の要望により復活しています。現在も便数・時刻等についての要望はありますが、電車と同じ平行したルートを通っての路線となりますので、便数を増やすことは難しい状況です。
遠矢委員	渋滞等で時刻どおりに到着するのは難しいとは思いますが、余裕をもった時刻で運行して頂けるとありがたいです。自分自身も乗ったことはないが、1人や2人のために対応するのは難しいとは思いますが。
武内委員	コミュニティバスの利用者数が減っている。現場から聞こえるのは、デマンド便の当日の予約ができないので何とかして欲しいとの意見がある。今後見直していく中でデマンド便を定時便へ昇格させたり、ルートや時刻等の見直

	しをしていくのかをお聞かせ願いたい。
浅沼副会長	今の意見は事業者としての意見なのか、利用者としての意見なのか。
武内委員	利用者としての意見です。お年寄りで急に用事ができた場合、定時便だと当日利用できるが、デマンド便だと当日に予約をできないので利用できない。今後の改善策はあるのか。
事務局	10月に向けて福井鉄道のダイヤ改正に伴い、コミュニティバスのダイヤ等も見直しをかける予定です。利用者の多いデマンド便は定時便に昇格させる等、乗降調査、バス運行事業者にも協力していただいて、意見を集約し、併せて運行経費等も考えながら検討していきたい。
浅沼副会長	デマンド便は前日の午後5時までに予約しないと運行できないのは、かなり制約があるが、今後検討していくのか。
事務局	運行事業者との調整も必要であるが、併せて検討していきたい。
浅沼副会長	以上、特に質問もないようですので、平成25年度コミュニティバス及び路線バスの状況につきまして承認とさせていただきます。

#### (4) 越前町地域内フィーダー系統確保保持計画(案)について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	この計画はデマンド運行に対しての計画なのか。目標数値は現状維持としているのか。また、目標数値はデマンド分のみの数値としているのか。
事務局	デマンド運行分に対しての計画となります。目標数値は現状維持とし、目標利用者数はデマンド運行分、定時運行分を含めた各ルートごとの数値としており、目標乗合率はデマンド運行分のみの数値としています。
浅沼副会長	目標乗合率も現状の数値なのか。
事務局	そうです。25年度の実績をそのまま目標数値としています。
浅沼副会長	なかなか現状を維持するのは難しい状況の中で、現状維持の数値を目標としていますが、皆さんよろしいでしょうか。補助申請額が平成26、27、28年度で若干数字が違うのは、運行日数の違いか。
事務局	そうです。年度ごとの運行日数の違いです。
浅沼副会長	本計画は3ヶ年計画を毎年、国に提出するようになっていきます。特に質問等がなければ、多少の計画変更も事務局へ一任することも含めて、承認いただけますでしょうか。
浅沼副会長	特に質問もないようですので、越前町地域フィーダー系統確保維持計画(案)につきまして承認とさせていただきます。

#### (5) その他

浅沼副会長	福井鉄道路線バスのダイヤ改正の概要を福井鉄道(株)の前田様より説明していただきます
福井鉄道(株)前田	福井鉄道より越前町を運行する路線バスの路線ごとのルート・拠点間の便数を説明

	10月に向けてダイヤ改正をさせていただきたい。利便性を損なわない形で越前町コミュニティバスとの連携を図りながら、便数の増減等についてのダイヤ改正を実施したい。
事務局	福井鉄道㈱のダイヤ改正に伴いまして、越前町コミュニティバスもダイヤ改正や乗降調査等による様々な見直しを併せて検討しています。見直し後の運行を10月からと考えていますので、見直しに係る第2回の会議は7月下旬を予定していますのでよろしくお願いします。
島委員	梨子ヶ平、血ヶ平は路線バスが通っておらず、月水金曜日にデマンドバスが通っており地元の住民は大変喜んでます。一方、玉川、左右地区ではデマンドバスは通っていないのでしょうか。越前岬地区の梨ヶ平、血ヶ平、左右や玉川地区の方は織田病院に行き、その帰りにメルシで買い物をして帰ってくる人が多い。玉川、左右地区の方が織田病院へ行き診察の終わった12時頃から帰る場合、コミュニティバスはかれい崎方面へしかなく、玉川、左右方面へのバスは夕方までないので不便を感じている。できれば玉川、左右地区もデマンド方式のバスをお願いしたい。また、デマンド便の予約が前日の午後5時までとなっていることも検討していただきたい。越前地区はコミュニティバスを利用している人も多く、利用せざるを得ない現状なので考えていただきたい。
事務局	越前地区は全便定時で運行する越前地区巡回ルート、梨ヶ平、血ヶ平、六呂師地区等を対象とした予約制でのデマンド便をワゴン車にて運行する便があります。また、福井鉄道の越前岬方面まで行く便は1便しかない現状です。これらについても定時便、デマンド便を併せて見直しを検討していきたいと思えます。
島委員	コミュニティバスについての要望等は各地区のコミュニティセンターで協議しているのか。
事務局	越前地区のコミュニティ運営委員会が出された意見もお聞きしていますし、各地区のコミュニティ運営委員会に本公共交通会議の委員の選出をお願いしていた経緯もあります。
島委員	コミュニティバスについての越前地区からの要望は何か出ていないのか。
事務局	正式にお聞きしていることではありませんが、話を聞く中では、越前コミュニティセンターを起点とし南北へのバスの運行ができないか、また、路線バスではかれい崎方面から来て道口から直接織田方面へ向かう運行ができないか等の話があります。また、梅浦経由の武生へ行くルートと併せて米ノから直接武生方面へ行くルートも聞いています。
島委員	血ヶ平のバス停ですが、集落の入り口にバス停があり、集落の奥に向かって上り坂になっているため利用者がバスに乗るときはいいが、大きい荷物を持った状態や天候が悪いときに集落の入り口付近にあるバス停に降ろされても、高齢者なので集落の奥にある家まで行くのが大変です。集落の奥にバス停の新設ができるのであれば、皆さん喜ぶと思うのでお願いしたい。
事務局	乗合ルートは大き目のワゴン車で運行していますので、安全の確保や運行自

	体に支障がなければ検討していきます。
浅沼副会長	乗合ルートはもともと利用が少ないことを想定しているが、利用状況みながら需要があれば見直しの中で検討してみてもどうか。
島委員	運行日が月水金というは計画を立てやすく、皆喜んでいる。玉川、左右のデマンド便を考えてほしい。
北川委員	福井鉄道の路線バスの変更ですが、市町をまたぐ路線なので、6月に県で実施されるバス協議会に諮った上で国に計画を出すと思うが、協議会においては住民の方の理解が重要になってくると思う。今回の会議で路線バスの変更案を示していただけるとのことだったのだが、また、住民の方が理解されているのか。
事務局	確認ですが、福井鉄道が路線を変更する場合、県の協議会へ諮る前に路線バスの変更に関係する越前町、鯖江市の地元の会議の場等で承認されたものを、県の協議会へ提出し、その後、国に申請するという手順になるのか。
北川委員	各市町の公共交通会議へ諮らなければならないという決まりはないが、住民の方の理解が取れているかということは重要になってくると思います。後々、路線変更が決まったあとで問題が出てくることがないようにするという事です。
事務局	県の会議はいつ頃か。
北川委員	国への提出時期が6月末となっているので、県の会議は6月中頃から下旬と考えています。
浅沼副会長	バスのダイヤ改正を決める時期は6月中ではなく、もう少し先ではないでしょうか。
福井鉄道(株)前田	もう少し先ではありますが、今後の予定としては、早急に素案を作成し、関係各市町の要望等を聞いて最終的な案を作成したいと考えています。また、地元の理解を得られたという前提で提出しなければならないと聞いています。
事務局	福井鉄道路線バスの路線変更の素案を案件とした公共交通会議を開かせていただきたいのですが。
浅沼副会長	この会議ではなくてもよいのではないかと。まず地区ごとに話を聞いたほうが意見を集約できるのではないかと。
事務局	分かりました。各地区のコミュニティ運営委員会もありますし、対象となる地区での意見を聞くような形で進めたいと思います。
浅沼副会長	そのほうが意見も出てくるだろうし、理解も深まるのではないかと。
武内委員	10月のコミュニティバスのダイヤ改正等の見直しは、まちづくり課のみで決められるのか、それとも携わっている業者等の意見も聞いて決めるのか。
事務局	実情をよく理解されている運行事業者の意見等も聞きながら、見直しを進めて行きたいと考えています。
浅沼副会長	国の方からは何かないでしょうか。
五十嵐委員	国の補助金制度を使っている部分があるので、補助金のスケジュールを逆算していただいて、早めに対応していただくようお願いします。

浅沼副会長	7月より早めのほうがよいですね。
五十嵐委員	ダイヤ改正に伴いフィーダー計画の変更も関係してくる場合もありますので、その辺を踏まえた上での対応をお願いします。
浅沼副会長	他になにかありますか。ないようですので、以上を持ちまして会議を終了します。